



○ 穂波東校：異学年交流の創造

だより前号では、本年度、穂波東校の異学年交流として新たに創られた「異学年交流：平和学習の折り鶴づくり」を紹介し、生き生きとした児童生徒の姿をお伝えしました。

2学期に入り、先生方の創意工夫・ご努力により、また新たな異学年交流が創られていますので紹介します。

◎ 小中合同表彰式

穂波東校の部活動はこの夏の大会・コンクールにおいて大いに活躍し、たくさんの表彰を受けました。2学期の小中合同始業式では、表彰を受けた各部や部員たちが、夏の大会で手にした優勝旗や賞状を持ってステージに立ち、全児童生徒に披露しました。中学部の部活動生には自尊感情の向上が、小学部の児童には「穂波東校の先輩たちはすごい。」「私もあんな先輩たちになりたい。」といった目標やモデル形成が図られたことと思います。



賞状や優勝旗、優勝カップを手にした先輩たちを見つめる小学部の児童たち

◎ 小学生と美術部員のコラボによるオブジェづくり

玄関ホールには、金子みすゞさんの「大漁」をモチーフした、素晴らしい作品（オブジェ）が展示されています。この作品は現在作成進行中です。美術部が中心となり、希望する小学生を受け入れ、ともに作品をつくっています。小学生は、美術部員の手ほどきを受けながら、魚（イワシ）の絵を作り、それを土台に貼っていきます。活動時間は昼休みです。毎日、何人もの小学生が活動に参加しています。

筆者にとって、このようなスタイルの異学年交流は初めて見ます。施設一体型小中一貫校における異学年交流の先駆的な取り組みであると感じています。



美術部員の手ほどきを受けながら、魚の作品をつくる児童たち。すべての魚がやがて一つの大きな群れとなります。

◎ 児童会・生徒会合同朝の挨拶運動

9月4日～11日、児童会・生徒会合同朝の挨拶運動が取り組まれました。1学期にもプレ的に取り組まれました。この時は、児童会と生徒会は互いに少し離れた場所で行っていました。しかし、2学期からは、互いに混ざり合っ、正に合同で取り組んでいました。取り組みが少しずつ進化している事例となりました。



児童・生徒がいっしょになったの挨拶運動

今後には計画されている異学年交流として、次の取組があります。

○ 中期縦割り掃除（9月18日～28日）

「7年生に中期リーダ学年としての意識・態度の育成」「5・6年生に中学生に向けたモデル形成」「学年の異なる集団での人間関係構築の能力の育成」、並びに「中期教職員の協働体制の構築」等をねらいとし、中期縦割り掃除を実施します。

○ チャレンジ授業（10月）

児童が中学部エリアに出向いて授業を受ける、出前授業の逆バージョンであるチャレンジ授業が実施されます。10月は音楽、理科が予定されています。チャレンジ授業では、児童に「やがて中学部に進学する」という意識をより強く持たせることをねらいとしています。ですから、児童には授業前にその心構えをしっかりと持たせる必要があります。この点については、小学部の該当クラスの先生方、よろしくお願ひします